

平成27年度 協働事業振返り調査票

協働事業の名称 地域コミュニティ活性化に向けた空き家有効活用支援事業  
 所属名(団体名) 住宅政策課

1 事業の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働相手の選定(市) 協働相手を公募しましたか。公募しない場合は、選定理由を明確にしましたか。	5	市民協働提案事業として、公募。
1-2 協働相手の選定(団体等) この事業の協働相手として自分の団体はふさわしい団体でしたか。		
2 目的の共有 事業の目的・目標を共有しましたか。	4	空き家有効活用についての目的は共有した。
3 目的・目標の達成 事業の目的・目標は達成できましたか。	3	具体的な活用とはならなかったが、目的は概ね達成できた。
4 事業実施中の意見や情報の交換 適宜、意見や情報の交換を行い、必要に応じ協議事項の見直しを行うなど、柔軟に対応できましたか。	4	適宜、情報交換や打ち合わせを行った。
総合コメント 空き家活用セミナーについては、市内2地区で実施し、情報を発信することができた。今後も継続的に行うことにより、啓発に努めていきたい。		

2 協働の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働の形態の選択(市) 選択した協働の形態(委託、共催、事業協力、支援・補助)は適切でしたか。	4	協働という形で適切であった。
1-2 協働の形態の選択(団体等) 自らの特性を活かせる連携方法でしたか。		
2 協働の意義の明確化 協働で実施する必要性やねらいを明確にしましたか。	5	NPOの持つ知識と経験を生かし、市と協働で行うことで、空き家有効活用を支援するという狙いを明確にした。
3 主体性・自主性の尊重 お互いを理解し、尊重して事業を進めましたか。	4	NPOの自主性を尊重しながら事業を進められた。
4 役割と責任の自覚 役割分担や責任の所在が明確でしたか。	4	広報や関係団体等との調整は市が行い、事業実施はNPOが行った。
5 協働の成果 協働ならではの成果はありましたか。また、副次的な効果はありましたか。 副次的効果：会員が増えた、会員や職員の育成につながった、新たな事業展開や課題解決方法が見つかった等	4	NPOが持つ豊富な知識と、海浜ニュータウンでの活動経験を生かすとともに、市が持つ情報発信力を活用することで、相乗的な効果を得ることができた。
総合コメント 市とNPOの双方の長所を生かし、事業を実施することができた。		

この振返りは、協働事業を行った双方が、協働事業への理解を深め、良好なパートナーシップを構築することにより、お互いに成長し、また、よりよい協働事業の発展につなげるために実施するものです。得点の高低や事業の優劣をつけるものではありませんので、率直な意見を記入してください。※振返り結果は 1(評価が低い) → 5(評価が高い)の基準で記入してください。